

広島大学図書  
2500029796

0  
935  
29796

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

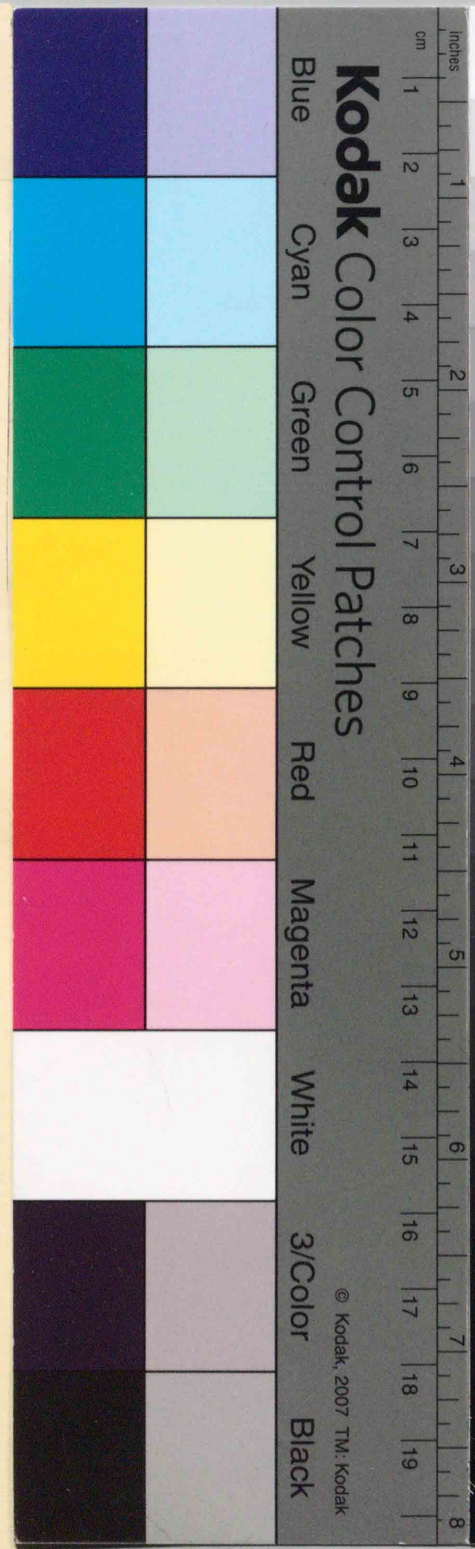


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



41122

教科書文庫

4
720
32-1935
25000 29796

1985



教科書文庫  
4  
720  
32-1935  
2500029796

第三學年用



本手方書語國

登錄番号	29796
分類	375.96
種	M



省 部 文

広島大学図書  
2500029796  




海暗三山雨

花明五嶺春

凡例

一、本書ノ漢字ハ、古人ノ筆蹟、世間ノ慣用等ヲ參酌シテ、書寫ニ便ナル體ヲ選ベリ。タメニ字典ニ載スル所ノモノト體ヲ異ニセルモノモ少カラザルヲ以テ、別ニ字典所載ノ體ヲ掲ゲテ之ガ異同ノ比較ニ資セリ。

一、本書ハ、毎卷、和漢古人ノ名筆ヲ選ビ、鑑賞資料トシテ卷末ニ附載セリ。

海、暗、三、山、雨、  
花、明、五、嶺、春。

(唐詩選ニ據ル)



戶 庭 無 塵 雜

虛 室 有 餘 閑

(陶淵明集二條)

高麗三

2

戶 庭 無 塵 雜

虛 室 有 餘 閑

高麗三

11



山はさけうみは

あせなむ世なり

とも

きみにふたごゝろ

我があらめやも

源 實朝

三

高國三

山はさけうみは

あせなむ世なり

きみにふたごゝろ

我があらめやも

源 實朝

三



花の雲かねは  
上野か浅草かはせを

五月雨のふり  
のこし  
てや光堂芭蕉

花の雲かねは  
上野か浅草かはせを

五月雨のふり  
のこし  
てや光堂芭蕉



祭。祀。舞。樂。素。

朴。優。美。高。雅。

祭。祀。舞。樂。素。

朴。優。美。高。雅。



朝与仁義生

夕死復何求

朝<sub>ニ</sub> 與<sub>ニ</sub> 仁 義 生<sub>トス</sub>

夕<sub>ニ</sub> 死<sub>トス</sub> 復 何<sub>ヲ</sub> 求<sub>トス</sub>

(陶淵明集二據ル)



趣の紙手御復拜  
在日終は日は承八日  
卒何間候上申待御宅  
候度され下車來御  
不二

趣の紙手御復拜  
在日終は日は承八日  
卒何間候上申待御宅  
候度され下車來御  
不二



夏 日 青 林 裏

高 臥 共 賦 詩

(良寛詩集二據ル)

夏 日 青 林 裏

高 臥 共 賦 詩



金 融。 調 節。 商  
品。 證 券。 管 理。  
運 用。 委 託。

九

金融調節為  
品證券管理  
運用委託

高國三

九

1842-1843



蕙 破 れ て は 霧 不  
断 の 香 を た き 扉  
落 ち て は 月 常 住  
の 燈 を か ぐ

(和漢朗詠集二巻九)

三國三

10

三國高

蕙破れては霧不

断の香をたき扉

落ちては月常住

の燈をかぐ

+



能くはふりいで、鳴

く聲のうつくしけれ

ば物ねたみせられて

よはひの短きなめりと

鈴 蟲 は ふ り い で 、 鳴

く 聲 の う つ く し け れ

ば 物 ね た み せ ら れ て

よ は ひ の 短 き な め り と



うなづかる。松虫もお

なじことなれど、名と

實と伴なはねばあや

しまるゝぞかし。

(一葉全集三巻也)

うなづかる。松虫もお

なじことなれど、名と

實と伴なはねばあや

しまるゝぞかし。



蒼 苔 路 滑 僧  
歸 寺 紅 葉 聲  
乾 鹿 在 林

(和漢朗詠集二卷九)

高國三

13

高國三

蒼 苔 路 滑 僧

歸 寺 紅 葉 聲

乾 鹿 在 林

十三



皇 師 百 萬 征  
強 虜 野 戰 攻  
城 屍 作 山

皇師百萬征  
強虜野戰攻  
城屍作山



愧カウ 我 何ナニ 顔カウ 看ミル  
父 老オホ 凱 歌 今  
日 幾 人ナニ 還カヘル

(乃木希典ノ詩ニ據ル)

愧我何顏看  
父老凱歌今  
日幾人還



客歲二月上旬聯合艦隊が大  
命ヲ奉ジテ出征シタル以來  
茲ニ一年有半。其ノ間海陸ノ  
交戰、皇軍勝利ヲ獲ザルコ  
トナク、今日復ビ和平ノ秋ニ遇

客歲二月上旬聯合艦隊が大  
命ヲ奉ジテ出征シタル以來  
茲ニ一年有半其ノ間海陸ノ  
交戰皇軍勝利ヲ獲ザルコ  
トナク今日復ビ和平ノ秋ニ遇



ヒ臣等犬馬ノ勞ヲ了ヘテ大毒縣

ノ下ニ凱旋スルヲ得タリ是ニ

大元帥陛下御威徳ノ然ラシ

ムルモノニシテ臣等ノ終始感激

措ク能ハザル所ナリ

ヒ、臣等犬馬ノ勞ヲ了ヘテ、大毒縣

ノ下ニ凱旋スルヲ得タリ。是ニ

大元帥陛下御威徳ノ然ラシ

ムルモノニシテ、臣等ノ終始感激

措ク能ハザル所ナリ。

(東郷聯合艦隊司令長官海戰經過奉告ニ據ル)



笠、重、吳、天、雪、

鞋、香、楚、地、花。

(禪林句集二據ル)

高國三

18

高國三

笠重吳天雪

鞋香楚地花

十六



風蕭兮易

水寒壯士一

去兮不復還

風	蕭 <small>セウ</small>	々 <small>トヨク</small>	兮	易
水	寒 <small>カン</small>	壯	士	一 <small>イチ</small>
去 <small>ク</small>	兮	不 <small>フ</small>	復 <small>フク</small>	還 <small>エン</small>

(楚辭二據ル)



鶴籠開處見  
君子書卷展  
時逢故人

(和漢朗詠集二據ル)

鶴籠開處見

君子書卷展

時逢故人



藤原定家は  
 うめをよみ  
 好む、  
 春の元  
 たるぬ  
 春の月  
 藤原定家

おほそらは  
 うめのほひに  
 かすみつ、  
 くもりも  
 はてぬ  
 春のよの月  
 藤原定家



花はさかりに月はくまな  
きをのみ見るものは。雨  
にむかひて月をこひたれ  
こめて春の行方しらぬも、  
なほあはれに情深し。

(徒然草三抄ル)

花はさかりに月はくまな  
きをのみ見るものは。雨  
にむかひて月をこひたれ  
こめて春の行方しらぬも、  
なほあはれに情深し



昨夜東風入武陽

陌頭楊柳黃金色。

(李太白集二據ル)

高國三

23

高國三

昨夜東風入武陽

陌頭楊柳黃金色

二十三



傳紀實之書 寸松庵色紙

としゆき

しらつゆのいろは

ひとつをいかにして

あきのこのはをち

にそむらん

24

高國三

高國三

としゆき  
しらつゆのいろは  
ひとつをいかにして  
あきのこのはをち  
にそむらん

11十四



盛唐 天章 虞 翰 唐 李 嶠 詩 殘 卷

落日正沉々。微風生北林。帶花  
疑鳳舞。向竹似龍吟。月影臨  
秋扇。松聲入夜琴。若至蘭臺  
下。還拂楚王襟。

25

高國三

高國三

落日正沉々。微風生北林。帶花  
疑鳳舞。向竹似龍吟。月影臨  
秋扇。松聲入夜琴。若至蘭臺  
下。還拂楚王襟。

二十五



昭和十年四月九日印刷  
昭和十年四月十一日發行  
昭和十年四月十二日翻刻印刷  
昭和十年四月三十日翻刻發行

高等小學國語  
書方手本 第三學年用

臨時定價金九錢ち

著作權所有

著作兼  
行者

文 部 省

昭和十年四月三十日  
文部省檢査日

東京市王子區堀船町一丁目八百五十七番地

翻刻發行 東京書籍株式會社  
兼印刷者代表者 石 川 正 作

東京市王子區堀船町一丁目八百五十七番地

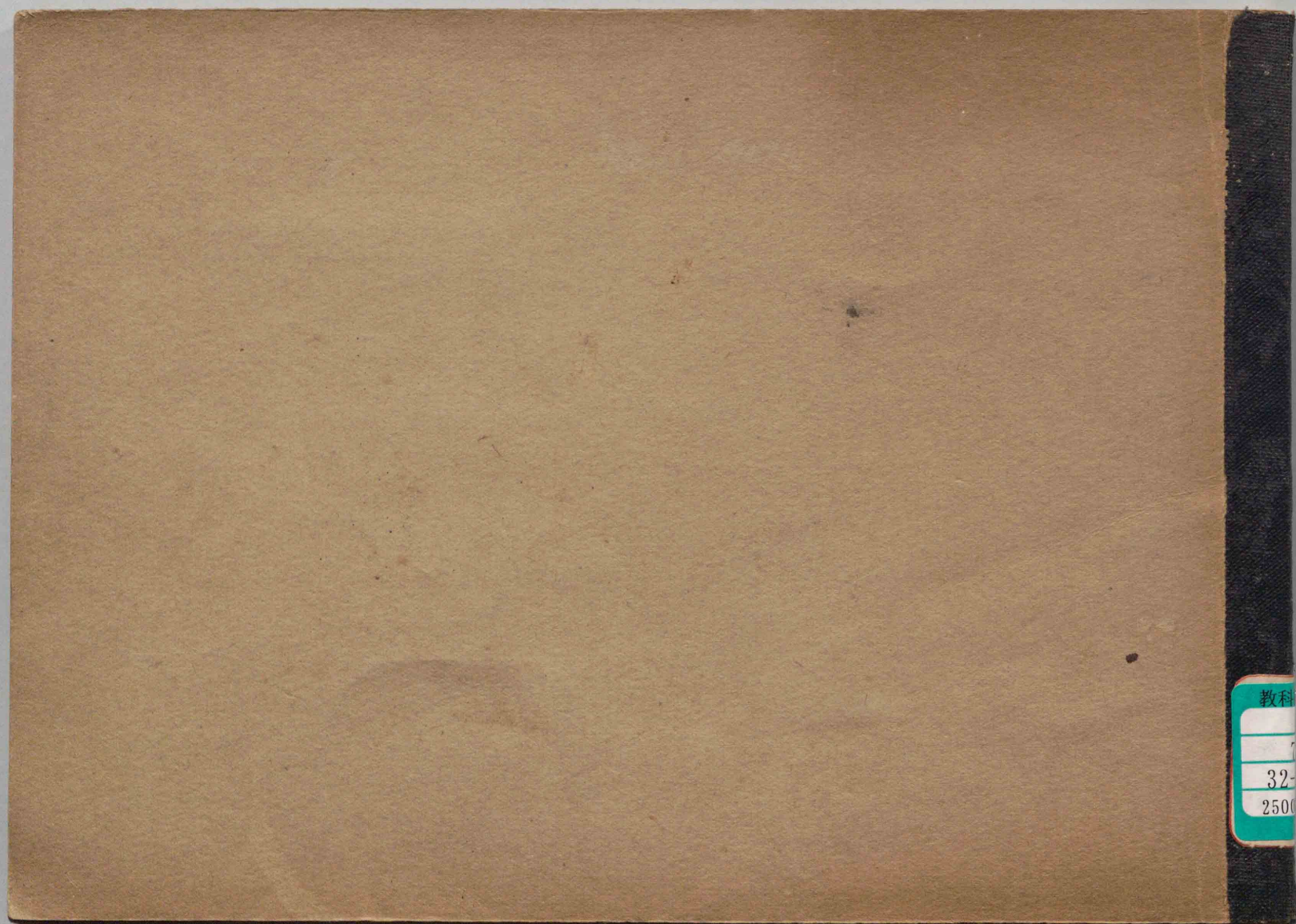
印刷所 東京書籍株式會社工場

東京市王子區堀船町一丁目八百五十七番地

發行所

東京書籍株式會社





教科  
7  
32-  
2500